

布団丸洗いサービスの受付を開始します

☎高齡福祉介護課(☎65-7789)
☎しょうがい福祉課(☎65-6518)

在宅で生活している方がいる人や、介護を受けている人が日常的に使用する布団を丸洗いするサービスを実施します。

※市税・保険料に未納がある人は申請できません。

※申請時点において在宅生活されている人に限ります。

【受付期間】12月1日(金)～12月15日(金)

8時30分～17時15分 ※土日を除く。

【負担額】代わりの布団を希望する場合950円、希望しない場合750円

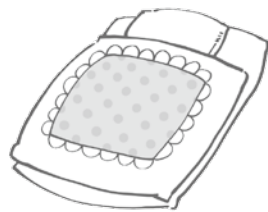
■65歳以上の高齢者

次のすべてに該当する人

- ①平成29年5月1日～10月31日の間に3か月以上在宅生活をしてきた人
- ②平成29年11月1日現在、ひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯等で介護保険の要介護3～5の認定を受けている人
- ③所得税非課税または生活保護を受けている世帯の人

申請窓口

高齡福祉介護課(本庁舎1階)



■しょうがいのある人

次のすべてに該当する人

- ①平成29年5月1日～10月31日の間に3か月以上在宅生活をしてきた人
- ②平成29年11月1日現在、次のいずれかの手帳を所持している人で、同居しているすべての人がいずれかの手帳を所持している世帯の人。またはそのしょうがいのある人と同居している人すべてが65歳以上の世帯の人
- 身体障害者手帳(肢体不自由、視覚、内部)1、2級
- 療育手帳A1、A2
- 精神障害者保健福祉手帳1、2級
- ③所得税非課税世帯または生活保護を受けている世帯の人

【申請時に必要な物】

交付を受けている手帳、印鑑

申請窓口

しょうがい福祉課(本庁舎1階)

市長コラム⁸⁹

至誠通天

藤井 勇治

※至誠通天 誠を尽くせば天が味方してくれること



高月町出身と伝える雨森芳洲先生、ついにユネスコ「世界の記憶」へ登録！

10月31日未明、国連の教育科学文化機関(ユネスコ)は、日韓両国の自治体などが共同申請した江戸時代の外交資料「朝鮮通信使に関する記録」などを「世界の記憶」に登録しました。朝鮮通信使は、江戸時代に朝鮮国王が徳川将軍家に派遣した使節団です。その「朝鮮通信使に関する記録」(計333点)には、高月町雨森出身と伝える江戸時代中期の儒学者雨森芳洲先生に関する資料も数多く含まれます。

長浜市にとって、昨年12月の長浜曳山祭のユネスコ無形文化遺産登録に加えて、世界が認める文化遺産がもう一つ増えたことは、長浜市民の誇りであり、大変大きな喜びです。

芳洲先生は、約300年前、九州の対馬藩に仕え、藩の教育や内政・外交などに貢献しました。ことに朝鮮通信使に随行するなど、隣国・朝鮮との外交面では、「互いに欺かず、

争わず、真実をもって交わる」との外交の基本を説いた人物で、長浜市が世界に誇る国際交流の先駆者です。今回のユネスコ登録により、芳洲先生の思想やその業績が広く再認識され、また啓発・普及をより一層進めることが、長浜市民の郷土愛を高め、さらには国際交流の活性化や多文化共生社会の実現につながっていくものと確信しています。

これまで、地域で雨森芳洲先生の顕彰活動が続けてこられた方々や関係団体の皆さんに心から感謝とお祝いを申し上げます。今後、芳洲先生が「世界に誇るべき平和友好の国際人」として、広く認知されるよう、なお一層の顕彰活動を進めていきたいと思っています。



▲登録を記念する祝賀会

未来を創る子どもたち

学校・国活動紹介 9

GO! GO! 余呉小 心身ともにたくましい余呉の子

10月1日(日)、余呉湖健康マラソンが実施され、全児童が「チーム余呉小」として参加しました。大会には、昨年度から参加しています。

余呉小学校では、毎日の「わかさぎタイム」で、ダッシュ、余呉小サーキット、リレー、マラソン、縄跳びなどに取り組み、体力の向上に努めています。

大会には、「余呉小学校から地域に元気を」という思いをもって参加しました。

会場の余呉湖畔に到着すると、子どもたちは、さっそく「ようこそはごろも伝説の里 余呉へ」と書いた横断幕を持ち、参加者の皆さんを「おは

ようございます！」と元気な明るい歓迎の挨拶で迎えました。参加者の皆さんからは、「とても気持ちがいいですね」と、笑顔でお褒めの言葉をいただきました。また、開会式では、子どもたちが参加者の前に立ち、堂々とラジオ体操をしました。



▲参加者を笑顔と挨拶でお出迎え

めざす子ども像

- 一、夢や目標をもち、それに向かって努力する子
- 一、思いやりのある心のやさしい子
- 一、ふるさとを愛し、誇りをもって生きる子

長浜子どものちかい

～わたしたちはちかいます～

- 一、元気にあいさつをします
- 一、名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
- 一、「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
- 一、困っている人がいたら言葉をかけます
- 一、人の話をしっかり聞きます

長浜子育て憲章

～おとなが実践します～

- 一、子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 一、見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- 一、ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 一、自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 一、長浜に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育てます

このコーナーでは、病院事業のスタッフの紹介を兼ねて、病院施設や体制のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。

市立病院通信⁸⁰

お元気ですか



市立長浜病院眼科 責任部長 清水 久雄

緑内障を知っていますか

多くの人は緑内障という言葉を知っているのではないかと思います。テレビ番組で耳にしたことがあるのではないのでしょうか。では、「緑内障とはどういう病気ですか」と質問すれば、白内障みたいなもの？何か怖い病気？など漠然としたイメージはあるものの自信を持って答えることは難しいのではないかと思います。

日本人では40歳以上の20人に1人が緑内障と言われていること、比較的身近であること、日本での中途失明原因疾患の第1位であるということから決して軽く考えることはできません。

大まかにいえば緑内障とは、眼圧という眼の中の圧力が高まることにより、眼の奥にある視神経が障害され、その結果、視野が狭くなり、視力も低下する疾患です。緑内障がやっかいな疾患であるのはいくつか理由があります。まず、視神経は一度

障害を受けると回復することはありません。つまり、緑内障で失われた視野や視力はたとえ治療を受けても良くなることはありません。また、多くの緑内障では、初期から中期の状態でもほとんど自覚症状がありません。最近見にくくなったと眼科を受診して中期や末期の緑内障が見つかり、そこから治療を始めても現状維持や病状の進行を鈍らせることで精いっぱいなのです。ですから、緑内障は早期発見、早期治療がとても大切になります。

普段、睡眠薬や風邪薬、咳止めなどを使っている人も多いと思いますが、一度お薬の添付文書で使用禁忌の項目を見てください。緑内障では使用禁忌となっているものが多いのです。これは緑内障の中でも閉塞隅角緑内障というタイプでは病状を悪化させるお薬があるからです。このように緑内障は決して他人事ではなく、昔から眼には自信があるという人も、一度眼科の人間ドックや診察で緑内障のチェックを受けてみてはいかがでしょうか。

☎市立長浜病院 (☎68-2300) (代表)